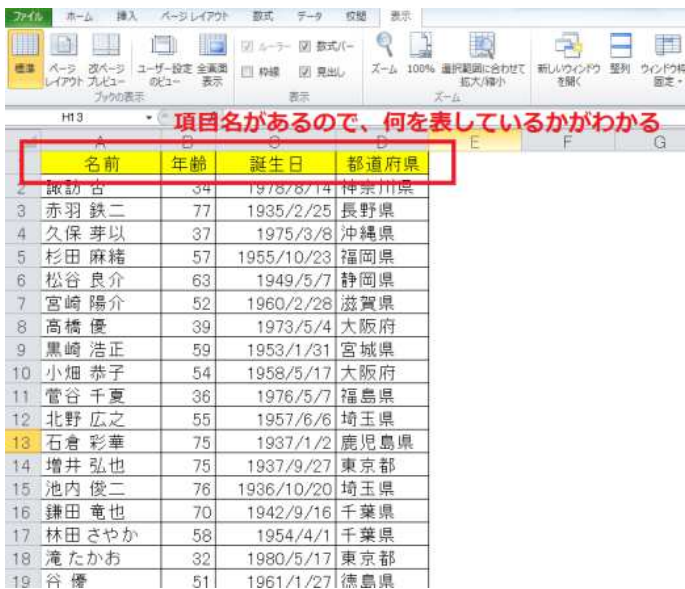


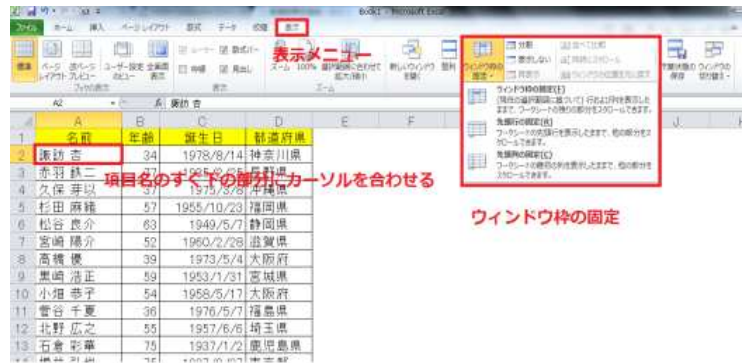
Excel を利用してたくさんのデータを取り扱おうとすると、通常、1 行目(ないしは、1 列目)に見出しを作ると思いますが、ナンバ―とか名前とか住所とかそういった項目名の事です。

しかし、通常そのまま Excel を使用していると、その見出し(項目)は一定数過ぎた後は、項目が移動して見えなくなってしまいます。結果それが何の項目かわからなくなってしまい、そのたびに 1 番上に戻って、項目名を確認するという作業が必要になってしまいます。これだと大変効率が悪いです。

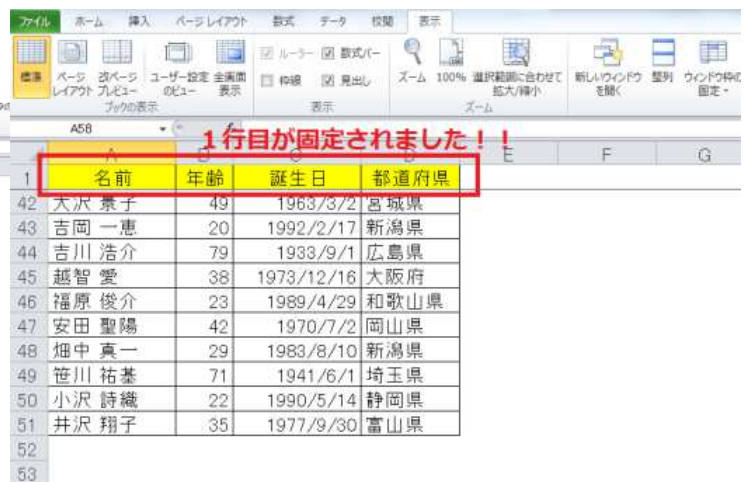
* なんとかして項目名の部分を固定したい！という時に利用できるのが「**ウィンドウ枠の固定**」という機能です。



* ウィンドウ枠の固定を使うと、指定した項目が固定表示となるため、セルをほかの部分に移動させても、項目名はずっと表示することができます。



- ・ウィンドウ枠の固定機能を利用するには、最初にカーソルの位置を正しく配置させる必要があります。
- ・今あるカーソルの位置の上側と左側が固定される項目となります。
- ・次に、上部メニューバーの中から「表示」を選択します。すると、右側に「ウィンドウ枠の固定」というメニューがありますので、そちらをクリックします。選択肢は3つほどあります。
 - ・ウィンドウ枠の固定: 行と列の両方を固定したい時に利用します。
 - ・先頭行の固定: 横(行)の項目を固定したい時に利用します。
 - ・先頭列の固定: 横(列)の項目を固定したい時に利用します。



このような形でウィンドウ枠が固定されます。

此の記述は、Excel 2010 についてです。